

大阪大学発！

市民と研究者・専門家による対話イベント

HANDAI WANICAFE

阪大ワニカフェ



令和8年
日 時 (2026)年3月21日 (土) 14:00~16:00



ゲスト

中岡 成文 Nakaoka Narifumi

元大阪大学大学院文学研究科 臨床哲学 教授
一般社団法人法人哲学相談おんこころ 代表理事

テーマ

「あなたの中の哲学を引きだす」

人が生きる上で、哲学は必要ですか？ 「弱さの力」という言葉に、あなたは興味がありますか？ ためらって、イエスと答えるなら、あなたはたぶん臨床哲学の仲間です。臨床哲学には「専門家」はいません。「探究の共同体」があるだけです。だからって、安易な妥協はいけません。

一緒に対話をして、言葉をがんばって鍛え、キャッチボールをしてみましょう。あなたは少しずつ変わります。

会 場

千里文化センター「コラボ」

2階 多目的スペース

※会場までのアクセス：裏面をご覧ください。

申 込



こちらのQRコードを読み込んで
Peatixからお申し込みください。

3月5日 (木) ~

主催：大阪大学21世紀懐徳堂、大阪大学共創機構
共催：豊中市市民協働部 地域連携課、大阪大学大学院人文学研究科

定 員

30名 (無料)

※空席がある場合には、
当日参加も可能です。



大阪大学
未来基金

大阪大学
21世紀
懐徳堂



大阪大学大学院人文学研究科
Graduate School of Humanities, Osaka University

豊中市
Toyonaka City

ともに生きるための 哲学

大阪大学文学部倫理学/大学院人文学研究科臨床哲学研究室

明治期以来、日本の大学で「哲学・倫理学」と言えば、欧米中心の学説史や理論について学ぶことばかりを重視し、社会における倫理の問題を自分たちで考えるという課題には、十分に向きあっていませんでした。1990年代になって、日本の倫理学者たちは、そのような状況を批判し、それぞれに社会に向きあう道を模索してきました。こうした流れを受け継ぎ、1998年大阪大学大学院文学研究科（現・人文学研究科）に新たな専門分野として「臨床哲学」も設置されました。

ここで「臨床」という言葉で指し示そうとするのは「社会の中で問題が生じている当の場所」です。その場所を手放さず、そこから「ともに哲学する」可能性を探究すること、これが「臨床哲学」という名前の下で目指すものです。

・・・・・ 進行役の紹介 ・・・・・

中岡 成文

元大阪大学大学院文学研究科 臨床哲学 教授、一般社団法人哲学相談おんころ代表理事、阪大ワニカフェ運営メンバー

1950年生まれ。京都大学大学院文学研究科単位取得退学。大阪大学大学院文学研究科教授を経て、現在、一般社団法人哲学相談おんころ代表理事。主著に、『試練と成熟——自己変容の哲学』（大阪大学出版会、2012年）『私と出会うための西田幾多郎』（1999年）『パラドックスの扉』（岩波書店、双書哲学塾、2007年）『臨床的理性批判』（岩波書店、双書現代の哲学、2001年）などがある。

がんや難病（ALSなど）の当事者との「哲学対話」を行う「おんころカフェ」の企画運営をはじめ、哲学対話の普及に取り組み、「阪大ワニカフェ」運営企画のメンバーの一人でもある。

会場までのアクセス



千里文化センター「コラボ」外観

住 所 :

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目2番2号

電 車 :

- ・北大阪急行「千里中央」駅北改札から約80メートル
- ・大阪モノレール「千里中央」駅から北へ約400メートル

バ ス :

- ・最寄りは阪急バス「千里中央」停留所

自家用車 :

駐車場のご用意はありません。

千里中央地区のコインパーキングをご利用ください。

※近隣店舗等への無断駐車は絶対におやめください。

【お問い合わせ】

阪大ワニカフェ担当
大阪大学共創機構渉外部門（担当：佐野）
E-mail : sano.keiko.ccb@osaka-u.ac.jp
※お問い合わせはメールをお送りください。



「阪大ワニカフェ」ホームページ

<https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/banner/wanicafe>

阪大ワニカフェ

検索

